Library Information No.6

令和8年10月10日
発行



🌟今月号は、24HR・23HRの図書委員が本の紹介をします🌟
各自で考えたテーマに沿って選び、新しく入荷した本＋図書室にある本を
図書室にも展示してありますので、ぜひ一度手に取ってみてください🎵

テーマ:「技術で作るこれからの社会」(24HR 内田)

🌟オススメの1冊🌟



『建築家、走る』
〈著者〉隈研吾 〈出版社〉新潮社

建築家として世界各地で建物を設計してきた隈研吾が、建築について考えながら、自身の経験や感じたことを綴っています。建築だけでなく、自然や地域、人とのつながりを大切にしながら、建物と人との関係について考えさせられる内容です。建物をつくることだけを目的とせず、その場所で暮らす人や周りの環境まで考える建築のあり方が伝わってきます。建物を通して、人や社会とのつながりを考えることができる一冊です！

テーマ:「よりよい社会をめざして」(24HR 斉藤)

🌟オススメの1冊🌟



『 面白くて眠れなくなる社会学 』
〈著者〉橋爪 大三郎 〈出版社〉PHP研究所

あなたは社会のことを知っていますか？きっと知らないこともあるでしょう。
この本では「言葉、家族、宗教、戦争、お金、仕事」など身近なテーマから社会を見つめ直し、どのように社会が成り立っているかがわかります。
またタイトルに偽りがないくらい面白く、サクサク読み進めることができます。
社会学に興味がない人も高校生のうちにぜひ1度読んでみてください！

テーマ:「できないをできるに変える思考」(23HR 江塚)

🌟オススメの1冊🌟



『ゼロからはじめる力 空想を現実化する僕らの方法』
〈著者〉堀江 貴文 〈出版社〉SB新書

この本は堀江貴文氏が「宇宙ロケット開発」という壮大なプロジェクトを事例に、何もない状態からアイデアを形にするための思考法と行動マインドを説いたビジネス書です。単なるノウハウ本ではなく、著者が民間ロケット開発に挑む中でのリアルな経験をもとに、読者の一歩を踏み出す勇気を後押しする内容になっています。

テーマ:「感情に任せてしまう自分を変える」(23HR 寺田)

🌟オススメの1冊🌟



『叱る依存が止まらない』
〈著者〉村中直人 〈出版社〉紀伊國屋書店

『叱る依存が止まらない』では、なぜ叱りが起こるのか、またそのメカニズムを解説する本です。この本で紹介されている叱る依存のメカニズムは叱ることにより状況をコントロールしているという満足感を得ることができます。もう一つの理由はアルコールなどと同様に手軽なストレス解消法として叱りが使われているというものです。怒りに興味があったり、過剰に怒ったり怒りたくないのに怒ってしまうひとにおすすめの本だと思います。

24HRの展示(図書室入って左側の棚)



23HRの展示(図書室入って右側の棚)



知識があなたを守ります

知っていれば防げます＋備えられます＋対応できます

①『それ犯罪かもしれない図鑑』　小島洋祐 監修／小豆だるま 絵　(金の星社)
ほんの悪ふざけのつもりでも、罪に問われる行動かもしれない。日常を振り返りながら学べる法律エンターテインメント！

②『15歳からの社会保障　人生のピンチに備えて知っておこう！』　横山北斗　著　(日本評論社)
家族、学校、お金、仕事、住まい、体調…。生活の困りごとに対応するための社会保障制度。知識があなたや大切な誰かの力になる。

③『地名は災害を警告する－由来を知り わが身を守る』　遠藤宏之　著　(技術評論社)
地名には、先人からの重要な警告が秘められていた！災害由来の地名を理解し、いざというときの知恵を身につけるための教養書。

④『ナインデイズ ―岩手県災害対策本部の闘い』　河原れん　著　(幻冬舎文庫)
2011年3月11日の発災直後、通信網の崩壊や燃料・物資の不足という極限状態の中、過酷な状況で奮闘した災害医療の現場と行政の姿を膨大な取材をもとに綴った、感動のノンフィクションノベル。







